

寶乗院愛染堂蔵

熊谷市指定民俗文化財
木造愛染明王坐像

調査報告写真

——— 平成 28 年 12 月 1 日 ———



吉備文化財修復所
さいたま市北区植竹町1丁目587番地5
Tel・Fax 048-667-6671

・本報告書は著作権法に定められた著作物にあたります。当修復所の許可無く複写・転載を禁じます。



安置完了後全体写真



正面



背面（持物なし）



右斜め前



左斜め前



右側面



左側面



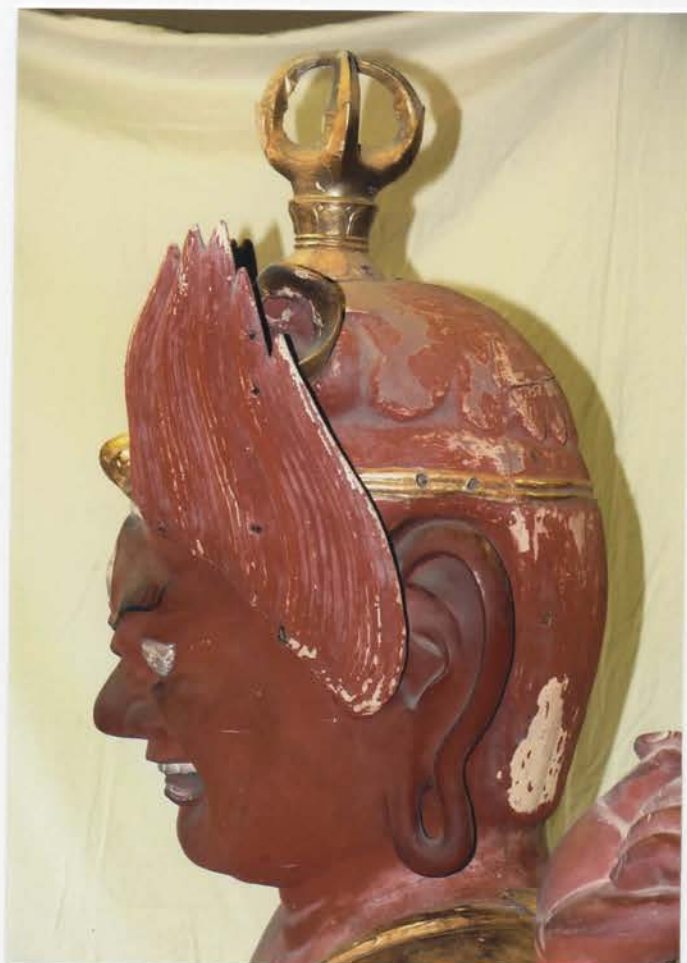
正面



背面



右側面



左側面

頭部（付属品なし）



写真上：両脚部上面



像底は後補の板材で塞がれていた。裙先の保護を兼ねて、像底全面に貼られている。

写真中：像底



後補箇所

後頭部、両脚部の一部とその他に形状の連続が不明瞭な箇所が見受けられ、後補箇所と思われる。

写真下：右脚部後補箇所。鉄釘で固定されている後補部材であることが分かる。



写真上：正面



写真中：右側面



写真下：左側面



以下の台座写真は工務店が
堂内作業時に仮置きしたもの
である。

便宜的に上3段、下4段に
分割し正規の順とは違った並
びで二箇所仮置きされてい
た。紫色のテープで正面を表
す印が付けられていた。

写真上：敷茄子、敷茄子受座、
蓮華正面



写真中：同右側面



写真下：同背面

台座上3段



写真上：同左側面



写真中：上面枘穴



写真下：蓮華上面



蓮華裏面



蓮華右前内部



蓮華上面内部

天板を外した補強棧の状態。

蓮華裏面・内部



下4段のうち蕊と反花は框の正面を基準にして時計回りに40度程ずれた状態で仮置きされていた。以下の写真はその状態のまま撮影したものである。

写真上：蕊、反花、上框、
下框正面



上框、下框の背面は形が省略されていた。

写真中：同右後方より



基本構造は、各段とも6材からなり、内部角に三角形の補強材を入れている。

この補強材は2材のものもあり互いの接合が緩み、補強材として機能していないものもあり、一部は失われていた。

写真下：同正面内部



必要な各箇所には構造材の補強が施されていた。(新材部分が工務店作業箇所)

写真上：同右面内部



写真中：同背面内部



写真下：同左面内部



内部墨書

台座内部に正面を表す符丁と見られる墨書きがあった。

写真上：敷茄子、敷茄子受座内部、正面側



写真下：同 背面側



光背・台座



光背、台座間の調整楔



正面



背面

光背・台座